

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
1 安全・安心まちづくり事業										
1	安全安心まちづくり推進事業費	1,429,000	1,429,000	1,346,142	<ul style="list-style-type: none"> ●区民誰もが安全で安心して暮らせるまちを形成していくために、安全安心に関わる様々な分野の団体で構成される「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地縁団体、事業者、行政機関などの連携・協働により、それぞれの対策を推進し、区民の暮らしやすい環境づくりに取り組みます。 ●地域防犯活動を支援するために、パトロール用資機材の貸与や落書き消し用品の提供を行い、地域の自発的な活動を支援します。 ●要望の多い、通学路等における交通安全対策として、啓発看板等の掲出等を行います。 ●「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」や「市安全・安心まちづくり推進計画」を基に、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会と協働し推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防犯活動への支援 ●地域パトロールや落書き消し等の支援 ●通学路を中心とした啓発看板の掲出等による交通安全対策の推進 ●啓発看板等の効率的な維持管理に向けた調査(3小学校区) ●中学生を対象としたスクアードストレート方式交通安全教室の実施 	3(ほぼ目標どおり)	<p>昨年度までの実施事業に加えて新たに、スクアードストレート方式交通安全教室を区内全8中学校3か年による実施を計画し、1年目2校を実施しました。来年度は2年次目3校実施する予定です。</p>	<p>本事業は地域の自主的な活動を支援することにより、区内の安全安心を推進する事業であることから、地域の実情に応じたきめ細やかな支援を継続的に行うことが必要であり、現状の支援体制を維持することが必要です。</p>	危機管理担当
2	子ども安全・安心見守り事業費	154,000	154,000	71,926	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども安全・安心協議会を、平成18年3月6日宮前区安全・安心まちづくり推進協議会の設立総会時に、宮前区PTA協議会からの提案により、部会組織として同日に設置したものです。 ●宮前区安全・安心まちづくり推進協議会総会と同時開催により、活動報告、活動計画について確認し、宮前区全体で安全・安心のまちづくりを推進します。 ●各小学校の見守り活動(パトロール)等の状況(登下校時や、夏休み、冬休み等における実施内容)を報告し、地域が活動に多く参加している学校の取り組み状況などについての情報交換を行い、効果的な活動を行います。 ●宮前区子ども安全・安心協議会を開催し、区内の学校、保護者をはじめ、地域住民、事業者、関係団体、警察、行政機関が連携し、子どもを犯罪から守り、登下校時等における子どもの安全などを地域全体で確保することを目指した取組などを行います。 ●子どもたちの安全・安心を確保するために、関係機関、団体、地域住民等の連携強化を図るとともに、地域における子どもの安全に関する意識や子どもたち自身の危機管理能力を高めていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども安全・安心協議会の開催 総会1回、連絡会議1回 ●地域安全マップづくり・研修への支援(小学校からの要望に応じて随時) 	3(ほぼ目標どおり)	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども安全・安心協議会の開催 総会1回、連絡会議1回 ●手挙げ方式の「地域安全マップづくり」については、今年度も昨年度に引き続き希望校がなく実施しませんでした。 	<p>手挙げ方式により実施してきた教育カリキュラム「地域安全マップづくり」への支援については、平成25年度以降、各小学校区の子どもの安全・安心協議会からの要望がないことから、平成28年度から休止とし、新たな意識啓発事業等について協議会で検討・実施していくこととします。</p>	子ども支援室
3	防災意識普及啓発事業費	2,638,000	2,638,000	2,432,609	<ul style="list-style-type: none"> ●各種の防災意識普及啓発活動(防災ニュースの発行、防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。 ●地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋げていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「防災ニュース」…区民への防災意識・知識の普及啓発のため、防災ニュースを年3回発行し、関係機関に配布します。より多くの区民に読んでもらうため、配布先の拡大や、発行部数の増加などについて検討を行います。 ●「防災フェア」…区民への防災意識・知識の普及啓発のため、防災フェアを開催します。より多くの区民、特に子育て世代の方に来場いただくため、開催日やプログラムについて、まちづくり協議会と協働で検討し、イベント内容の充実を図ります。 ●「宮前区防災推進員」…推進員の「養成研修」と習熟度に応じた「フォロー研修」を行い、防災リーダーの育成を図ります。また、育成する人材の裾野を広げるために、自主防災組織の他に、PTAや地域団体へも参加促進を図ります。 	3(ほぼ目標どおり)	<p>目標どおり達成できました。</p>	<p>各防災事業は地域の防災意識向上に寄与しているため継続実施とし、全ての事業において活性化を目指します。</p>	危機管理担当
4	地域防災力向上事業費	3,732,000	3,732,000	3,217,420	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区の防災力向上に向け、防災に関する必要な事項を検討し、情報の共有化を図るため、宮前区を管轄する公共公益機関及び関係団体等を構成員とする宮前区地域防災連絡会議における検討を進めます。所掌事項は、宮前区地域防災計画に関すること、地域防災力向上に向けた各種取組と連携に関すること及び地域防災力向上に向けた情報の共有等を推進します。 ●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して事業を進めます。3か年の計画整備により、誘導案内看板の設置や区役所及び避難所に必要な備品を配備します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各部会における課題の検証と検討をふまえて、対応策を講じます。帰宅困難者対策として、地域防災連絡会議における検討、提案を受け、幹線道路、国道246号線への誘導案内標識等の整備に取り組みます。また、避難所の滞在環境の改善のための「避難所備蓄エアマット」、山坂の多い地形に対応した職員の機動力確保を目的とする「災害時道路パトロール用電動自転車」も併せて配備します。 	3(ほぼ目標どおり)	<p>目標どおり達成できました。</p>	<p>大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指し、継続して事業化を進めます。一般財源を財源とし、3か年の計画整備を行います。</p>	危機管理担当

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の実施内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
5	次世代まちづくり・ 地域交通環境向上 事業費	3,000,000	2,983,000	2,646,000	<p>●区役所・市民館・図書館の立地位置の悪さ、拠点機能が宮前平地区と鷺沼地区に分散し区内に核となる中心市街地が存在しないこと、坂道が多く徒歩や自転車を利用した移動に制約があることなどについて、公共交通(路線バス)を活用して課題の解決を図ろうとするものです。平成26年度までは「地域交通環境整備事業」として事業を実施してきたが、平成27年度からは事業名を改め、課題解決の手法を公共交通だけに求めずICT技術やパーソナルモビリティの活用なども視野に入れ、日常生活に必要な移動手段の確保について調査と検討を行うこととしました。</p>	<p>●日常生活に必要な移動手段の確保に向けた検討</p> <p>●ICT技術やパーソナルモビリティの活用を視野に入れた自宅から最寄りの停留所や店舗などまでの移動手段の確保に向けた調査と検討</p>	3(ほぼ目標どおり)	公共交通の利用環境の向上に向けた検討などを継続するとともに、今後のまちづくりの参考とするため、日常生活に必要な移動手段を含めて、区民ニーズを把握するためのアンケート及びヒアリング調査を実施しました。	今年度のアンケート及びヒアリングの結果を踏まえながら、引き続き区民ニーズの把握に努め、それらを踏まえてモデル事業の実施に向けた検討を進めていくこととなりました。	企画課

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の実施内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
2 健康づくり支援事業費										
1	健康づくり支援事業費	359,000	359,000	265,854	<ul style="list-style-type: none"> ●「第2期かわさき健康づくり21」の基本目標である、生涯を通じた主体的な健康づくり、市民の健康づくりを支える環境整備について、生活習慣の改善をライフステージに合わせて働きかけ、地域の健康づくりネットワークの整備・充実を図ります。 ●健康づくり情報誌「健やかライフ宮前」(平成23年度は全年齢対象版、平成24年度は高齢者対象版、平成25年度は若年者対象版)を改訂・10000部作成し、これを活用した健康づくりの普及啓発を実施します。健康づくり推進連絡会議や食育推進分科会を開催し、若い世代向けの内容にリニューアルを図り、区役所等での配架や、保健福祉センターでの健診や講座・自治会・老人会・地域で行われる出前講座等で広く周知をしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり情報誌「健やかライフ宮前」の改訂と、これを活用した健康づくり出前講座の実施 ●地域の自治会やグループに出向き、直接住民の声を聴く場を増やすこと、KDB(国保データベース)の活用による、地域の健康課題を抽出と、課題解決策の検討 ●高齢者だけでなく若年者の健康づくりを推進するため、39歳までの健康診断・保健指導の充実と、次年度以降の若年者への健康的な生活習慣づくりについての介入方法の検討 ●健診の受診率向上 ●地域の健康づくりネットワークの充実のため 	3(ほぼ目標どおり)	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり情報誌「健やかライフ宮前」は、若い働く世代の住民を対象に、わかりやすいマンガを取り入れ改訂を検討し、年度末に「みやまえ健康サポートブック こつこつ」として完成しました。 ●若年者への健康づくりの推進として、39歳までの健診・保健指導の受診者を広報の工夫により増やし、指導についてもカンファレンスで検討し充実させました。働く世代を対象とした健康づくり講座を土曜日に2回開催し、各回70名を超える参加者が 	今年度改訂した新しい健康づくり情報誌を活用し、若い働く世代に健康づくりの知識を普及啓発します。また健康的な生活習慣の習得と実践のための地域の健康づくりネットワークを構築・充実させる支援として、健康づくり推進連絡会議や食育推進分科会等で、地域住民の意見を広く聞き、反映させていきます。さらに各種健診(健診)の受診率を向上させ、KDB(国保データベース)を活用した重症化予防事業を実施します。	こども支援室

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
3 総合的な子ども支援事業										
1	子育て情報発信事業 (区民会議課題)	1,067,000	1,040,000	958,366	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区は0歳から14歳までの人口が7区中で最も多く、子育てに関する最新の情報を分りやすく提供し、子育て世代の孤立感や育児不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える必要があります。 ●子育て世代の孤立感や育児不安を軽減し、安心して子育てができる環境の推進を図るため、以下の情報発信についての取組を行います。 ・みやまえ子育てガイド「とことこ」及び「とことこおでかけマップ」の改訂・増刷 ・地域の子育て情報の提供のためのホームページの管理・運営 ・地域子育て支援センターチラシの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ●みやまえ子育てガイド「とことこ」及び「とことこおでかけマップ」の改訂・増刷 ●地域の子育て情報の提供のためのホームページの管理・運営 ●地域子育て支援センターチラシの発行 	3(ほぼ目標どおり)	<ul style="list-style-type: none"> ●みやまえ子育てガイド「とことこ」及び「とことこおでかけマップ」を各7千部作成し、健診時や母子健康手帳交付及び子育て中の保護者の区内転入手続きの際などに配布しました。 ●官民協働地域ポータルサイト「宮前ぼーたろう」内に開設したWEB版みやまえ子育てガイド「とことこ」について、子育て支援イベント等を通じて認知度の向上と活用の促進を図ると共に、継続的かつ効率的に子ども・子育て情報を発信しました。また、利便性・魅力度のさらなる向上に向けたカスタマイズを実施しました。 ●SNS(Facebook及びTwitter)を活用した子ども子育て情報の登 	従来からの情報紙及び地域ポータルサイト内の子育て情報専用のホームページ等による情報発信に加え、来年度から開設される子育てアプリを活用した効果的な情報発信を行ってまいります。	子ども支援室
2	子育て支援事業 (区民会議課題)	1,804,000	1,804,000	1,378,793	<ul style="list-style-type: none"> ●育児に不安や孤立感を持った子育て世帯が増加していることから、子育て支援機能の充実を図り、育児力向上と仲間づくりを目的として、子育てサロンやイベント、親と子の子育て応援セミナー、食育講座にこにこもぐもぐを実施します。また、それぞれの地域の特性に応じた支援の実施が求められ、子育て支援機能を備えている公営保育所のセンター園(土橋保育園)、ランチ園(中有馬保育園・菅生保育園)を中心とした8か所の公営保育所、地域子育て支援センター(すがおさぎぬま)、向丘出張所等が連携し子育て支援事業を展開しています。 ●地域全体で子育て世帯を見守り、安心した子育ての環境づくりとして地域資源の発掘、人材の育成が求められています。 ●区内保育所の保育の充実を目的に、専門職を含めた連携会議やニーズに合わせた研修を実施し、増加する民営保育所の保育の質の担保・向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てが出来る環境づくり、子育てを支援する体制作り、こどもが健やかに育つ環境づくり ●向丘出張所、区役所キッズコーナーの整備 ●センター・ランチ園を活用した取組(食事つき体験保育、父親の子育て講座、プレママ・プレパパ講座、保育連続講座等) ●地域子育て支援センターを活用した取組(食育講座、オープン講座、土曜開所) ●地域課題事業の取組(親と子の子育て応援セミナー、食育講座にこにこもぐもぐ) ●公営保育所実施の子育て支援事業(園庭開放、遊びの広場、プレママ・プレパパ見学会、体験保育等) ●地域の民生委員、主任児童委員等と連携した取組 ●公・民保育所の連携事業の推進(公立の職員が区の課題を統括し課題解決に向けての企画の立案と実施)(専門職を含む連携会議や研修の実施) 	3(ほぼ目標どおり)	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援事業においては、地域子育て支援センターやセンター・ランチ園を主とした公営保育所での実施のほか、今年度は民営保育所との連携強化のもと、実施回数や実施場所を増やし、支援の場と支援に係る人材の拡充を図りました。 ●人材育成に向けた連携会議や研修では、昨年に比べ参加者は増えてきています。ますます、民営保育所が増設されていく事が予測される中、エリアごとに課題を解決し、効果をあげることができる研修や会議等を実施し連携を深め、保育の質の向上を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援事業については、民営保育所との連携強化のもと、子育て支援の場と人材の拡充を図り、事業を展開していきます。 ●人材育成については、センター園・ランチ園をはじめとする新たな公立保育所の機能を有効に活用すると共に、民営保育所への講師派遣の充実やニーズに合わせた研修を実施し、保育の質の向上に向けた取組をすすめていきます。 	子ども支援室
3	子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	655,000	655,000	422,852	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区は地形的に山坂が多く交通の利便性が悪いため、子育て支援サービスの提供を受けにくい地域があります。また、子育て世代の転入者が多く、子育ての孤立化や慣れない生活環境での育児不安などが起こりやすい現状があります。 ●子どもたちの健やかな成長を支え、区における子育て支援を地域社会全体で推進していく観点から、ネットワーク会議関係者同士の情報共有と意見交換を行い、乳幼児から児童・生徒までの子どもたちへの連続した支援体制の構築が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 区における子育て支援を地域社会全体で推進する観点から、ネットワーク会議による情報共有を行い、地域のネットワークを強化し、関係機関・団体等と協力、連携し事業に取り組みます。 ●子ども支援に関わるネットワーク会議を年2回実施 ●子育て支援関係者連絡会を隔月実施 ●うえるかむクラスを年3回実施 ●子育てグループ交流会を年1回実施 ●サロン交流会を隔年実施 ●幼保小連携事業、幼稚園・保育園・小学校の連携会議、小学校教諭の保育園実習研修、幼稚園教諭の保育園実習研修、保育士の幼稚園実習研修、保育園・幼稚園年長担当者等の学校訪問をそれぞれ実施 ●区役所内の子どもに関係する部署との連携会議、担当者会議、及び課長級会議を各1回実施 	3(ほぼ目標どおり)	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援関係者連絡会での調整を行い、毎年実施している宮前区内に転入した子育て中の区民を対象とする子育て支援イベント「うえるかむクラス」について、今年度から対象を転入者以外にも拡大して実施するなど、区民ニーズを的確に捉えた内容としました。このほか、各取組内容について、着実に推進することができました。 	子育て関係者などの意見も柔軟に取り入れながら、引き続き子育て世代のニーズに即した事業の見直しを図ってまいります。	子ども支援室

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
4	子ども包括支援事業	6,651,000	6,651,000	6,185,434	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年に開所した「こどもサポート南野川」では、育児における孤立化の防止と、不安の解消や仲間づくりの応援、そして、不登校、ひきこもりなどの課題を持った子どもたちと保護者の居場所づくりや生活・進路指導など、子育て支援の拠点として、0歳から18歳までの子どもとその保護者を対象とした子育て支援を包括的に行っています。 ●子育てサロン等乳幼児イベントの開催、フリースペースの提供、子育て支援情報の提供を行っています。 ●学齢期の児童・生徒の生活・学習相談、不登校・ひきこもりなどの課題を持った子どもへの居場所の提供と、生活・学習支援、保護者からの相談への対応、進路相談・指導のための保護者会の開催や、専門家による支援スタッフへのスキルアップ研修、講演会の実施などを行っています。 ●今後は、地域包括ケアシステムの中で、当該事業が果たすべき役割や運用体系について、関係局、機関及び地域等と協議・調整をしながら、確立していく必要があります。 ●子どもたちが持つ課題は、多岐にわたり複雑で深刻なものも多く、これらに対応するための専門家や専門職種、関連部署による協力体制の充実など、一層の連携強化が求められます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●0歳から18歳までの子どもとその保護者に係る受入体制の充実と環境整備に向けた以下の取組を実施します。 ・区役所各課、こども本部、教育委員会、健康福祉局を始めとした関係部署との情報共有及び連携 ・専門家による支援スタッフへのスキルアップ研修の実施 ・課題を持った児童・生徒と保護者への進路相談・指導を目的とする保護者会の充実 ・小児精神科医等専門家の招聘による講演会の実施 ・各種メディアを活用した利用促進広報の拡充 ・フリースペースを活用したイベントの開催、子育てサロンの実施 ・施設環境の改善・整備として、多目的室への空調設備の設置 ・園庭内の不要となった老朽遊具撤去、樹木剪定。雑草刈取り処理 	3(ほぼ目標どおり)	各取組内容・目標について計画的に進めるとともに、こどもサポート南野川での運営会議及び情報交換会においてきめ細かい情報交換を行うなど、目標どおりの事業推進を達成できました。	引き続き、当該事業の目的に向けた着実な事業推進を行うとともに、より良好な子ども・子育て支援体制を確立するために、こどもサポート南野川の施設使用形態の見直しや環境の改善整備を行います。	こども支援室
5	こども自然探検隊事業	100,000	100,000	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ●当該事業を開始した平成23年度から25年度までの3年間において、包括的なこども子育て支援事業の中で、年1回の催事として実施してきましたが、事業として定着してきたことから、平成26年度から「あつまれ！こども自然探検隊事業」として、継続実施することとしたものです。 ●子どもたちが、自然と接する機会が不足していると言われていた中で、区内の自然環境を利用した自然観察会の実施や、森・里山遊び、農作業等体験など、自然と触れ合い関心を持つことで、自然を大切にすることを育てるとともに、これらの自然を守る大人たちとの交流する機会を持ち、回数を重ねることで、地域コミュニティにおける子どもたちの繋がりを深め、活性化を図るものです。 ●事業実施は、実施場所の自然環境や地域特性に熟知した、経験豊かなスタッフ陣がいる団体により行います。 ●今後は、他の活動団体にもこの取組への参加を呼びかけ、活動の 	<ul style="list-style-type: none"> ●とんもり谷戸の自然を利用して、次のような体験を通じた子どもたちによる自然との触れ合い・共生についての学習を行います。 ①森歩き、竹の伐採、竹を使った器や串づくり ②ダイコン掘りやサツマイモ掘りなどの畑での収穫体験 ③丸太切りなどの木こり体験 ※今年度は「夏」と「秋」の2コースで開催 	3(ほぼ目標どおり)	実施スケジュールを見直し、夏遊びコース(6月14日、7月12日)と秋遊びコース(11月8日)の2コースで開催し、とんもり谷戸の自然の中で、森・里山遊びや農作業等を体験できました。また、開催当日の様子を地域情報紙等を通じてPRしました。	今年度の実施結果を踏まえ、より効果的に事業目的を達成できるよう、子どもたちが体験できる遊びの内容について、委託先と調整を行いながら見直しを図っていきます。	こども支援室

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の実施内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
4 環境まちづくり事業										
1	花と緑のあふれる 住みよいまちづくり 事業	1,592,000	1,592,000	1,528,505	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の公園においては自主管理団体(緑化活動団体)が個別に活動し、また、3割の公園においては、地域による自主管理がされていない状況にあり、第4期宮前区区民会議においても、公園を地域コミュニティの核として活用することが求められ、地域管理の促進とネットワーク化が必要です。 ●花壇を通じて、緑化活動団体の活動を活発化と、団体相互の交流を推進させるとともに、緑化活動団体の新規団体の立ち上げを支援することにより、区民による花と緑のあふれるまちづくり(緑化活動)、区内の緑化活動団体・公園管理団体の拡充を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を支援 ●新規緑化活動団体立ち上げ及び活動の支援 ●緑化活動団体の活動の活性化を図るため、緑化促進に関する講座等を開催 ●緑化活動団体の交流促進、情報交換ができる交流会等の開催 ●東名IC花壇の整備 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	緑化活動団体の活性化を継続して図る必要があるため、次年度は、現状の事業内容を維持する方向となりました。	地域振興課
2	区役所庁舎エコ化 事業	2,360,000	2,360,000	2,160,000	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区役所は建築から32年が経過し、既存設備の劣化が多々見受けられ、冷暖房能力の低下は著しい状況となっています。また、庁舎長寿命化の促進はもとより、庁舎における節電対策が求められており、電力使用の大部分を占める照明についても対策が必要となっています。 ●庁舎の省エネルギー化(遮光遮熱フィルム設置及び照明設備のLED化)を推進することで、市民への省エネ意識を啓発することはもとより、快適な庁舎利用及びサービス向上を目的とします。 	●区役所3階の一部の照明設備(40W型約200本)のLED化	3(ほぼ目標どおり)	LED化対象範囲について、目標どおりLED化を行うことが出来ました。	来年度以降も市民への環境意識向上を目指し、庁舎内の環境整備状況を勘案しながら事業を継続します。	総務課

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の実組内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
6	みやまへの農コミュニティ活性化事業費	300,000	300,000	287,194	<ul style="list-style-type: none"> ●C級グルメコンテスト(料理コンテスト)は、宮前市民館の市民自主企画事業で20年度から実施し、25年度から区役所事業に移行しました。 ●生産者と消費者や料理店など消費者との間にまだ距離があり、直売所の利用や宮前区産の農産物の消費も思うように進んでいません。その距離を縮め、直売所の利用を促進し地域での消費を伸ばすため互いの交流を図ります。 ●区内で営業している料理店は、流通ルートに乗っていない地場産農作物を活用したくてもできない理由の一つとして、仕入れるすべがわからないことがあります。そこで、生産者との交流を図りお互いの顔を合わせることで、地場産農作物のメニューへの活用と地産地消を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●料理コンテストの実施 ●料理教室及び生産者と消費者の交流会の開催 ●JAセレサとの連携事業 	3(ほぼ目標どおり)	C級グルメコンテストプロの部については、実施方法を見直すため、募集を見送りました。アマチュアの部については目標どおり達成できました。	JAセレサ川崎農業協同組合に事業の提案を行いました。今後については未定です。	生涯学習支援課
7	宮前区サイン整備計画事業	158,000	158,000	136,237	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区内にある、坂道紹介やお散歩マップ、駅案内板、モニュメントなどのサインは設置から年数が経過し、所管が不明確、老朽化、情報の更新状況の把握不足等の課題が顕在化しています。 ●平成25年度に宮前平駅周辺500m圏域、平瀬川お散歩コース沿いを調査し、課題整理をしました。 ●平成26年度に、区全域の現況調査等を行い、その結果を報告書にまとめ、市民意見を踏まえた結果、適正な維持管理等に向けた取組が必要という課題が出されました。 ●平成27年度は、区内の既存サインについて老朽化や情報が古いなどの課題があることから、適正な管理や効果的な情報発信に繋げるため、報告書に基づき、適切な維持管理と必要に応じた修繕等を行います。 	●既存サインの適切な維持管理と必要に応じた修繕等	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	修繕は各所管の通常業務における対応とし、本事業は廃止の方向に向かうため、修繕料としては縮小させていくこととなります。	企画課

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の実施内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
6 地域コミュニティ活性化推進事業										
1	まちづくり推進事業	3,866,000	3,866,000	3,762,736	「川崎市市民活動支援指針(2001年)」や「宮前区区づくりプラン(1997年)」に基づき、行政主導ではない区民が主体となり協働したまちづくりを推進し、市民団体の活動が活性化するような環境を整備するため、中間支援機能を持った「宮前区まちづくり協議会」に委託し、市民活動団体の活動紹介等の広報紙、各種メディアによる情報発信や助成金による団体支援、地域の魅力発信及び市民団体の活動紹介のためのウォーキングイベントの開催、更に市民活動団体の相互の交流推進や区民のまちづくりに対する意識向上を図るまちづくりフォーラムの開催などについて、協働により実施します。	●広報紙の発行やホームページ・Webマガジンによる市民活動団体の情報発信や活動紹介、地域の魅力等の発信 ●市民活動団体の活動支援のための助成金の交付 ●市民活動団体や行政施設の紹介、魅力発信のためのウォーキングイベント等の開催 ●市民活動団体の活動を支援するための各種講座の開催 ●市民活動団体の交流や区民のまちづくりに対する意識向上を図るため、まちづくりフォーラム「まちづくり広場ラブみやまえ」を開催	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	市民活動団体のさらなる活性化に向けて支援を継続する必要があり、当初の検討方針どおり、次年度は事業内容を現状維持する方向となりました。	地域振興課
2	まちづくり支援事業	2,866,000	2,829,000	2,828,520	市民との協働のまちづくりを円滑で効果的に推進していく上で、まちづくり専門家としての見地や、活動に関する提案、助言及び情報提供等を行っていくことが必要不可欠であり、また、個別の市民活動団体の相談、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等を行うためコンサルティング業務を委託し、宮前区まちづくり協議会の活動を支援します。	●宮前区まちづくり協議会活動及び市民活動団体の活動に対するコンサルティング業務の委託(事業提案、制度設計、講座企画、イベントの運営支援、情報提供、データ分析、ポスターデザイン、会議資料作成、事業報告書作成等) ●宮前区まちづくり協議会第9期では、コンサルを活用した効果的な組織改編を図り、活動の活性化を推進	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	市民活動団体のさらなる活性化のため、まちづくり協議会への支援を継続する必要があり、当初の検討方針どおり、次年度は事業内容を現状維持する方向となりました。	地域振興課
3	宮前区スポーツ推進事業	2,493,000	2,388,000	2,387,445	●平成23年8月にスポーツ基本法が制定され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である」と定めています。宮前区は多摩川河川敷に面しておらず、山坂が多いことから、7区の中でもスポーツ施設数が少ない現状がある一方、区民のスポーツに関するニーズは高く、子供から高齢者までスポーツに親しめる環境づくりが必要となっています。 ●平成22年12月にフロントタウンさぎぬまとまちづくり連携協定を締結し、区役所と様々な分野で連携することが可能となりました。また、平成24年9月に川崎市スポーツ推進計画が策定され、区民が気軽にスポーツを行うことのできる環境を整備すること、幅広い世代の区民がよりスポーツに親しめる環境を作ることが定められました。 ●子供から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を実施することで、スポーツや体力向上の関心を高め、様々なスポーツに親しめることを目指します。	●フロントタウンさぎぬまとの連携事業の実施 ●トップアスリート活用事業の実施	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度のスポーツ推進事業の取り組みの結果、スポーツや健康づくりへの意識向上など、ニーズにあった事業展開や効果的な広報の課題が残っており、予算調整により継続の方針で調整を行い、当初の検討方針どおり、次年度も事業内容を継続する方向となりました。	地域振興課
4	宮前区スポーツ推進整備事業	6,617,000	6,627,000	6,334,200	●平成23年8月にスポーツ基本法が制定され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である」と定めています。宮前区は多摩川河川敷に面しておらず、山坂が多いことから、7区の中でもスポーツ施設数が少ない現状がある一方、区民のスポーツに関するニーズは高く、子供から高齢者までスポーツに親しめる環境づくりが必要となっています。 ●平成24年9月に川崎市スポーツ推進計画が策定され、区民が気軽にスポーツを行うことのできる環境を整備すること、幅広い世代の区民がよりスポーツに親しめる環境を作ることが定められました。 ●平成26年度に整備された鷺ヶ峰けやき公園多目的広場でスポーツや体力づくりができるよう補修整備を行うとともに、長時間広場が使用できるようトイレ設置に向けた設計を行います。また、屋外運動施設が少ない宮前区にとって貴重な多目的広場である	●鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修施工を支援する。 ●鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の団体使用について、運営部会に対し指導、助言する。 ●鷺ヶ峰けやき公園多目的広場のトイレ設置に係る設計を支援する。 ●西長沢公園多目的広場の一部補修の施工を支援する。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度のスポーツ推進整備事業の取り組みの結果、スポーツができる広場としての維持管理やスポーツ環境の向上に向けた課題が残っており、予算調整により継続の方針で調整を行い、当初の検討方針どおり、次年度も事業内容を継続する方向となりました。	地域振興課
5	みやまえスポーツふえすていばる開催事業	2,017,000	2,017,000	1,984,205	●平成23年8月にスポーツ基本法が施行され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利である」と定めており、区民のスポーツに関するニーズは高く、子どもから高齢者までスポーツに親しめる環境づくりが必要となっています。 ●スポーツに親しみ、楽しむことは、体を動かすことによる爽快感だけでなく、健康・体力の維持増進や人と人との地域における一体感をもたらす効果を期待することができます。地域で行われているスポーツ大会を地域が主体的に企画・運営することで、スポーツを通して区民同士がふれあい、交流を深めスポーツ等に親しむ機会をつくり、地域コミュニティの活性化を図ります。	●みやまえスポーツふえすていばるの開催 ・女子バレーボール大会(宮前地区・向丘地区・区)・ソフトボール大会(宮前地区・向丘地区) ・ドッジビー大会(宮前地区・向丘地区) ・歩こう会(宮前地区・向丘地区) ・ディスカバーウォークみやまえ(宮前地区・向丘地区) ・ジュニアフットサル大会 ・区長賞贈呈 ●アンケート調査実施	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度のみみやまえスポーツふえすていばる開催事業の取組の結果、地域コミュニティ活性化のための効果的な広報や参加者募集に課題が残っているため、予算調整により継続の方針で調整を行い、当初の検討方針どおり、次年度も事業内容を継続する方向となりました。	地域振興課

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
6	地域情報発信事業 (区民会議課題)	3,522,000	3,452,000	3,182,618	<ul style="list-style-type: none"> ●地域社会における住民相互の関係の希薄化が課題となる中、住民が地域に関心を持ち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。 ●イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、興味のある住民も参加しにくい状況にあります。区民会議においてもこの課題について議論・提案が行われ、これまで(1)地域イベントをまとめた情報紙の定期的な発行、(2)転入手続時に地域の魅力を知ってもらうため冊子の配布を行ってきました。また、効果的に回覧物を配布する施策として、(3)町内回覧物の一括配送業務を委託し実施してきました。 ●区の魅力をアピールするイメージキャラクターとして、「宮前兄妹」「カッチちゃん」は今後も活躍が期待されており、適切な維持管理を行っていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歳時記みやまえ イベントカレンダーとして、地域の伝統行事・イベント等を情報発信し、地域のコミュニティ活性化を図ります。取材・編集およびインターネットによる発信を業務委託します。 ●回覧物一括配送 町内会・自治会等への回覧物を集約し、委託事業者により分配・封入・配送を一括して実施します。 ●ぐるっとみやまえの編集・印刷 おもに転入世帯に配布し、宮前区の魅力、観光スポット等を紹介し地域への参加を呼びかける冊子を改訂します。 ●宮前区PRキャラクターの維持管理 区役所事業のみでなく一般の団体にも貸出をすることで区の魅力をアピールし、洗浄等を行い適切な維持管理を行います。 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今年度のぐるっとみやまえの発行においては、区民との協働事業によって事業を進めた結果、当該団体と「宮前区の情報発信等に関する協定書」として協働に関する協定を締結するに至りました。引き続き、区民との協働によって事業を進めていくほか、より効果的な情報発信に向けた手法の検討や既存の媒体・広報物の統合に向けた検討を行っていきます。	企画課
7	多様な主体の社会参加促進事業	500,000	500,000	499,998	<ul style="list-style-type: none"> ●14年度は、子ども達の夏休み体験の一環として、地域の大人との世代間交流の場の提供を目的に宮前市民館自主事業で事業化され、翌年度から新たに創設された市民提案型の市民自主企画事業に移行しました。以降22年度まで、同事業で実施され、23年度から地域課題対応事業に移行しました。 ●夏休みの最後の日曜日に市民館全館を使って開催し、日本に古くからある遊びや舞台での活動発表などの表現を通して、高校・大学生、障害のある方、地域の達人、ボランティアなど多様な主体同士が交流します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休み子どもあそびランドの実施 ●高齢化する遊びの達人の世代交代を図るため、達人養成講座の開催 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	引き続き、達人や中高生のボランティアを募集し交流を行います。地域人材の育成は継続して行う必要があるため、次年度も達人養成講座を実施する予定です。	生涯学習支援課
8	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業	281,000	418,000	202,190	<ul style="list-style-type: none"> ●23年度に「宮前区地域人材育成に係る基本指針」を策定し、「市民対象学級・講座・イベント企画・運営マニュアル」を作成しました。指針を活用した、庁内部署における地域人材を育成するため、生涯学習支援課と連携したモデル事業を実施しました。同時に事業の検証や新規連携モデル事業の検討を行ないました。 ●自治基本条例に謳われている市民自治の土壌作りのため、地域で活動する人材を育成する必要があります。そのため、生涯学習支援課と区役所の部署が連携してモデル事業として人材の育成を図ります。 ●宮前区では「宮前区地域人材育成に係る基本指針」を策定しており、「学び」と「実践」を機能的に連携させ、市民協働を効果的・発展的に推進する指針の目指すところを庁内で共有しながら活動を充実させる必要があります。 ●区が実施する、講座や事業について内容や対象者など重複している例が見受けられるため、整理が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な人材を育成するため、連携モデル事業の検証・実施 ●道路公園センターと協働した「地域の公園魅力アップセミナー」の開催 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	宮前区生涯学習推進会議にて事業の課題を見直し、次年度は、「楽しくはじめる」公園活動について検討する予定です。	生涯学習支援課
9	市民活動支援拠点のネットワーク事業	1,073,000	1,073,000	994,339	第4期宮前区区民会議においても、市民活動団体の活性化と次世代の担い手不足が議論され、市民活動団体及び団体の拠点周知等が課題となっているため、市民活動拠点の情報収集と当該市民利用施設を紹介したマップの作成や、各支援コーナー登録団体を紹介した冊子の作成配布を行い、市民活動団体への参加を促し、市民団体の活動活性化と活動拠点のネットワークを構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動拠点・団体の情報収集 ●市民活動団体を紹介したマップの作成配布 ●市民利用施設を紹介したマップの継続配布 ●区民活動支援コーナー、ふれあいスペース宮前、向丘地区区民活動支援コーナーの運営支援 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	市民活動参加促進及び市民活動の活性化を図るため、次年度は、市民活動拠点・市民活動団体の情報発信を継続する方向となりました。	地域振興課
10	みやまえカルタ制作事業 (区民会議課題)	258,000	83,000	0	都心のベッドタウンとして発展し、核家族化が進み、市外への通勤・通学者が多い宮前区は、地域への興味や愛着が薄れがちであることから、宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱ききっかけ作りと地域コミュニティの活性化に取り組むため、第2期区民会議から提案され作成した「みやまえカルタ」を、地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとして活用します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や学校でのイベント等におけるカルタ大会の開催やカルタ展示等による普及促進 ●チラシ、ポスターの作製及び区内の学校や福祉施設等への配布による普及促進 ●学校等での利用状況の把握と促進 ●地区カルタ、記念カルタの販売 	5(目標を大きく上回った)	地域振興課窓口でのカルタ販売と併せて、宮前区民祭等のイベント開催時にも販売ブースを設けるなどしてカルタの販売、周知に努めました。平成27年度の合計販売数は3月末日現在、69個となり、前年度実績の38個を大きく上回りました。今後も区民への	「みやまえカルタ」を地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとしていくため、今後も若年層、転入者等への啓発活動とカルタの提供を継続して行ってまいります。事業費については、経費節減し歳入予算の範囲内の需用費のみの予算構成としました。	地域振興課

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の取組内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
11	冒険遊び場活動支援事業 (区民会議課題)	758,000	758,000	753,223	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現代の子どもたちにとって、自分たちが自由に遊べる空間が不足しており、その成長過程において必要な、時間・空間・仲間の「3つの間」がないといわれています。このことから、公園というオープンスペースを活用して、与えられた遊具だけではなく、思いきり遊ぶことのできる外遊びの環境について、確保することが求められています。 ●本事業は、これらの趣旨に基づき2011年度(平成23年度)の事業開始以来4年が経過し、現在では5団体が実施団体登録を行っています。そして、それぞれの地域において活動を地道に継続するなど、当該事業が子どもたちの成長や地域コミュニティの活性化の果たす役割など、その成果について地域住民等から一定の理解が得られています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公園などを活用し、地域住民が主体となって行う「冒険あそび場」活動を支援することにより、一層の地域コミュニティの活 	<ul style="list-style-type: none"> ●冒険遊び場支援要綱に基づく活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・広報物の作成支援 ・開催に必要な物品等の貸出 ・ネットワークづくりの活動支援 ●地域の担い手育成 <ul style="list-style-type: none"> ・冒険遊び場の広報 ・ブラッシュアップ研修の実施 ●事業の普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・出張冒険遊び場の実施 ・冒険遊び場シンポジウムの実施 	3(ほぼ目標どおり)	12月に実施した冒険遊び場シンポジウムをきっかけに、この時の出席者がネットワークの定期会議に、毎回積極的に参加し意見交換を行うなど、活動への新たなメンバー加入のきっかけづくりと、一層の活性化に向けた進展が見られました。	当該事業の実績を有する事業団体への業務委託実施により、順調かつ円滑な事業推進が行えました。このことから、次年度も引き続き同方式により実施します。	こども支援室
12	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業費 (区民会議課題)	67,000	67,000	43,254	<p>第4期宮前区区民会議において、「地域への帰属意識の希薄化」が課題であるとして議論され、地域を身近な存在にするきっかけ作りとして、平成25年12月、「区誕生40周年、市制100周年を見据えたアーカイブ事業の実施」が提案されました。これを踏まえ、区役所内において検討を重ね、事業化するに至りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アーカイブ事業を実施するに当たった課題抽出のため、庁内において試験的に実施(各所管が管理・保有する写真等の整理・保存を行う) ●上記施行実施の結果を踏まえ、本格実施に向けた手法を検討。 ●すでにアーカイブ事業を実施している局区や関係機関との意見交換。 	3(ほぼ目標どおり)	次年度以降の事業のあり方について関係課とも協議を行った結果、宮前区まちづくり協議会が開催している「みやまえフォトコンテスト」に、過去に撮影された写真を募集し展示する「むかし部門(仮称)」を創設することにより、効率的・効果的な収集を行うこととしました。	関係課とも協議を行った結果、「みやまえフォトコンテスト」の開催にあわせて、過去の写真の募集を区民に呼びかけ、収集を行うこととしました。今後も引き続き、アーカイブに関する各局区の動向の把握に努めていきます。	企画課
13	区民祭開催経費	287,000	287,000	287,000	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の急速な宅地開発や都心部のベッタウン化が進む中、人と人とのつながりや地域への関心が希薄になってきているため、区民祭の開催を通して、地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育てていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区民がより親近感や達成感を感じることでできる区民祭の実施に向けて、区民と区役所との協働により取り組みます。 ●会場については、平成26年度から宮前区役所及び宮前市民館に移して開催しています。 	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	今後の開催会場の検討も含め、区民と協働して、より良い区民祭の開催に向け取り組んでいきます。	総務課

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の実績・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
7 区役所サービス向上事業										
1	宮前区役所BGM 配信事業	44,000	44,000	43,200	区民課・保険年金課等の窓口来庁者の多いフロアを中心に受付待ちの時間が生じてしまうことが多くあります。特に繁忙期等は受付待ちが長時間にわたることもあり、そのことが来庁者のストレスとなっておりクレームや区役所イメージの低下につながる恐れもあります。そのため、快適な区役所サービスの提供のためには来庁者の待ち時間におけるストレス緩和のための取組を進める必要があります。 そこで、区役所庁舎に音楽を流すことで来庁者の受付待ち時間の	区役所庁舎内にBGMを配信し、区役所サービスの向上につなげる。	3(ほぼ目標どおり)	目標どおり達成できました。	次年度もBGM配信事業を継続していきます。 今後は、設置後10年以上経過した配信装置への対応等についても検討していきます。	総務課
2	バリアフリー推進事業	2,309,000	2,309,000	2,228,040	●区役所・市民館の間にある広場は、庁舎建築後32年による劣化によりタイルが欠けており、転倒等による事故が発生する可能性があります。ノンスリップタイル化することにより利用者が安全・安心に庁舎等を利用できることを目的とします。 ●区民が安心して使える広場を目的とし、平成15年度から地域課題対応事業にて事業を開始しました。区役所周辺のタイルのノンスリップ化を実施し、現状市民広場が未実施箇所となっている状況です。	●市民広場中央通路のタイルのノンスリップ化。	3(ほぼ目標どおり)	当初予定していた工事範囲について、ほぼ目標どおり工事を行うことが出来ました。	タイルのノンスリップ化をすることでバリアフリーの促進をすることが出来ました。来年度以降も庁舎内及び庁舎周辺のバリアフリーの状況を勘案しながら事業を継続します。	総務課
3	窓口サービス向上事業	220,000	247,000	145,254	・窓口への来庁者に対し、より質の高いサービスを行い区役所での時間を快適に利用していただくため、区役所各課から横断的にワーキングチームへの参加を募り、当事業の施策について検討を図ります。 ・研修(接遇等)の充実を図ることで、職員のレベルアップ及び組織の活性化を促し、質の高いサービスを提供できる組織づくりを推進します。 ・窓口受付時の来庁者の個人情報に関し適正管理を行うことで、安心して窓口で相談及び利用できる雰囲気づくりに取り組みます。	・区役所サービス向上の課題検討と対応の実施 ・転入者への各種手続き案内チラシの作成、配布 ・窓口カウンター周辺の利便性の向上(老眼鏡、カウンター衝立の整備) ・待合ロビー及び窓口周辺における快適性の向上(キッズスペースの絵本補充、ベッドシートの設置) ・接遇研修会等の実施	3(ほぼ目標どおり)	今年度目標としていた取組について、実施することができました。 なお、ワーキングチームにおいて今年度は、アンケート調査を刷新した「みやまえ☆ご意見ボックス」の設置、窓口対応を円滑にする用語を毎朝の庁内放送で実施、接遇意識と接客スキルの向上を図る「みやまえ☆マジックフレーズ」の策定、わかりやすい案内と業務意識の共有化のための「みやまえ☆リーフレット」を作成し、より質の高いサービスを提供するための取組を行いました。	窓口に来る来庁者の方に対するサービスをより良くするためのあり方について、次年度も引き続き検討、実施いたします。	区民課
4	区役所サービス向上推進事業	2,294,000	2,294,000	2,178,360	●宮前区役所は建築から32年が経過し、庁舎の汚れ及び劣化が多々見受けられ、壁紙の劣化に伴う庁舎内の照度の低さが著しい状況となっています。また、床材劣化による剥がれがあり、危険な状況となっています。これを改善し、快適な庁舎利用及びサービス向上を目的とします。 ●来庁者にとって明るく安全で快適な庁舎になるよう平成25年度に事業化しました。 ●平成26年度に区役所サービス向上を目的とする区役所サービス向上委員会ワーキングチームと連携して2階の床材の張替等を実施しました。	●区役所庁舎3階の床材の張替及び階数案内表示の整備を実施。	3(ほぼ目標どおり)	ほぼ目標どおり工事を執行しました。	今年度は床の張替及び階数案内表示の整備を実施し、市民サービス向上を達成することが出来ました。来年度以降は引き続き区役所庁舎内の状況を見ながら事業を継続します。	総務課

平成27年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要・経過・課題等	27年度の実施内容・目標	達成状況	実績等	28年度以降の事業の方向性	担当課
8 区の新たな課題即応事業										
1	区の新たな課題即 応事業費	5,000,000	5,000,000	4,761,181	●年度途中で発生する新たな課題に適切かつ迅速に対応する事業 です。	●即応すべき課題が生じた場合に、適切 に対応	3(ほぼ目標 どおり)	ピープルデザイン未来塾@宮前 区の開催、地域包括ケアシス テム構築に向けた区民シンポジ ウムの開催、平瀬川健康ウォー クロードの距離標の設置、区役所 サービス向上に向けた各種取組 など、 地域の課題に適切に対応した 取組を進めることができました。	次年度も、年度途中で発生した新たな課 題に対して、適切かつ迅速に対応してい きます。	企画課
9 その他										
1	管理運営経費	705,000	655,000	345,299	地域課題対応事業における事務経費					

合計	69,744,000	69,744,000	64,716,608
-----------	-------------------	-------------------	-------------------